

1. 科目名 (単位数)	第二言語習得理論 (2 単位)	3. 科目番号	EIJP2341
2. 授業担当教員	松浦 康世		
4. 授業形態	講義、演習 (グループワークを含む)	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・ 他科目との関係			
7. 講義概要	第二言語を学び習得する際の理論や問題点について学んでいく。第二言語習得は、日本語や外国語教師になることを目指すものにとって必要な知識である。本講座では、基本的な専門用語や、第二言語習得の際に起こる問題について学ぶ。		
8. 学習目標	第二言語習得 (SLA) の基本的な概念の理解を目的とする。		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	1. 毎回、授業の前に予習ノートを作成する。(3点×10回) 2. 予習した内容を授業で発表する。(2点×5回) 3. 授業で学習した内容に関して小テストがある。(10点×3回)		
10. 教科書・参考書・ 教材	【教科書】 授業内でプリントを配布する。 【参考書】 ロッド・エリス『第二言語習得の基礎』ニューカレントインターナショナル、1998 鈴木孝明『ことばの習得—母語習得と第二言語習得』くろしお出版、2012 白井恭弘『外国語学習の科学—第二言語習得論とは何か』岩波新書、2008		
11. 成績評価の規準と 評定の方法	○成績評価の規準 1) 第二言語習得 (SLA) の基本的な概念について自分のことばで説明できるようになったか。 ○評定の方法 以下の点を総合して評価する 1 授業への参加態度 総合点の 30% 2 試験 (小テスト・期末テスト・口頭発表試験 等) 総合点の 30% 3 提出課題 (レポート等) 総合点の 40% なお、本学規定により、3/4 以上の出席が確認できない場合は単位の修得は基本的に認められない。		
12. 受講生への メッセージ	外国語や日本語を効率よく教えるためには、習得のメカニズムを知り、自分の経験と照らし合わせて理解する必要がある。学習者の立場になって考える姿勢を身に付けてほしい。		
13. オフィスアワー	初回の授業で周知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	オリエンテーション (学習の進め方、課題、評価方法) 母語獲得と第二言語習得の違い	事前学習	シラバスを読み、講座の概要を理解する。
		事後学習	時間割に沿って学習計画を立てる。
第 2 回	第二言語習得研究の分野と歴史	事前学習	予習ノートの語句について調べる。
		事後学習	新しく学んだことを整理して記録する。
第 3 回	行動主義心理学、構造言語、普遍文法	事前学習	予習ノートの語句について調べる。
		事後学習	新しく学んだことを整理して記録する。
第 4 回	インプット仮説、アウトプット仮説	事前学習	予習ノートの語句について調べる。
		事後学習	新しく学んだことを整理して記録する。
第 5 回	インタラクション仮説、自動化理論	事前学習	予習ノートの語句について調べる。
		事後学習	新しく学んだことを整理して記録する。
第 6 回	小テスト 1、解説	事前学習	テスト範囲の語句を復習する。
		事後学習	解けなかった問題を確認する。
第 7 回	学習者言語との関係	事前学習	予習ノートの語句について調べる。
		事後学習	新しく学んだことを整理して記録する。
第 8 回	教室での実践、Focus on Form	事前学習	予習ノートの語句について調べる。
		事後学習	新しく学んだことを整理して記録する。
第 9 回	言語教育プログラムの種類	事前学習	予習ノートの語句について調べる。
		事後学習	新しく学んだことを整理して記録する。
第 10 回	小テスト 2、解説	事前学習	テスト範囲の語句を復習する。
		事後学習	解けなかった問題を確認する。
第 11 回	学習者の内的要因、言語転移、中間言語	事前学習	予習ノートの語句について調べる。
		事後学習	新しく学んだことを整理して記録する。
第 12 回	動機、態度、学習ストラテジー	事前学習	予習ノートの語句について調べる。
		事後学習	新しく学んだことを整理して記録する。
第 13 回	客観的テスト、心理学的テスト、言語誘出法	事前学習	予習ノートの語句について調べる。
		事後学習	新しく学んだことを整理して記録する。
第 14 回	小テスト 3、解説	事前学習	テスト範囲の語句を復習する。
		事後学習	解けなかった問題を確認する。
第 15 回	まとめ、アンケート	事前学習	学習項目を見直し、疑問点を整理する。
		事後学習	今後の学習計画を立てる。